

(総務委員会)

観光による地域の活性化を目指して、国、県、市および関係団体などとの連携を図り、下記について実施したい。

1. 協会事業全体に対する総合的な企画及び調整。
2. 国、県、市及び関係団体の事業への参加を通じて下呂温泉の情報発信と収集。
3. 広域観光の推進を目指して周辺地域、関係機関との連携。
4. 濃飛横断自動車道、リニアエクスプレス中央新幹線「中津川駅」からのアクセス整備。
5. 「M I C E」(Meeting、Incentive、Convention、Event/Exhibition)による誘客促進。
6. 下呂温泉のランドマークとなる外湯施設などの建設推進。
7. 飛騨・美濃じまんキャンペーン、ウェルネスツーリズムなどとの連携。
8. インバウンド推進を図る岐阜県の空港整備やアクセス充実のための諸活動。
9. 温泉を活かした健康保養地づくりの促進。
10. 下呂交流会館コンベンション活用。
11. J R高山本線強化促進のための諸活動。
12. 下呂市並びに下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合等関係団体との連携の強化。
13. 県及び近隣観光協会及び商工会、市内観光協会連絡協議会など関係団体との連携。
14. 日本三名泉有馬・草津と韓国儒城との交流、情報交換。
15. 下呂温泉まつりの共催。
16. 市、市議会および行政機関、教育機関との意見交換会などの開催。
17. 日本文化の継承を図り、芸妓芸能の育成。
18. 防犯活動の推進。
19. 観光関係功労者、優良従業員の表彰。
20. 会費、負担金の検討。
21. 下呂市観光協会連絡協議会の事業。
22. 下呂温泉観光協会だよりの発行。
23. 会員の拡充を計る。

昨年度は関越自動車道のバス事故や、中央自動車道のトンネル事故などの影響を心配しましたが、それらについて官民一体となって情報収集や分析等の戦略会議を重ね誘致事業を実施した結果、平成24年度合計で1,015,276人、前年比+11,915人101.2%増(目標達成度99.83%)となり100万人を維持することが出来ました。

しかし、宿泊料金等の低価格化など取り巻く環境は厳しくまだまだ先行きの見えない状況は続いています。旅行ニーズの変化が速くその対応が重要であり、油断することがないようにしっかりとした誘致宣伝が必要であります。円安傾向により中部地区の自動車など輸出産業は景気回復の兆しが出ていますが、個人所得が上がるまで来ていません。こうした中、岐阜県や下呂市・旅館組合・商工会・下呂交流会館・合掌村・コンベンションなどとの連携を強化し、キャラバンなどを中心に誘致に努めるとともに、着地型観光の造成などを促進して下呂市全体のPRおよび広域的な観点から、県内各地域のパンフレットを持参して誘致事業を展開致します。

1. 旅行形態についての分析、マーケティング
2. 全国各地へのキャラバンの実施
3. 中部運輸局・岐阜県・岐阜県観光連盟との連携
4. JR東海はじめ旅行業者との連携
5. 宣伝用印刷物・販促物の作成とマスメディアに対する広告出稿
6. インターネットによる情報発信事業
7. 下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市観光協会連絡協議会、
下呂市観光客特別誘致対策協議会との連携
8. MICE(マイス)による観光客誘致の促進(交流会館、コンベンションビューローとの連携)
9. インバウンド事業の促進
10. ドライブ旅行の誘致対策
11. 着地型旅行商品の積極的な取り組み
12. 下呂温泉ふるさと観光大使に掛かる事業



企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字をとった造語である。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

(まちづくり委員会)

新しい時代の温泉地として、街並整備、名所作りは重要な要素の一つです。美しい街は訪れたお客様への最大の「おもてなし」と考えます。

行政、各種団体の連携を図り下記の事業を実施し、温泉地としての「魅力あるまちづくり」について推進していきたい。

1. 花木の植栽と定期的な管理
2. 飛騨川・国道41号線クリーン大作戦の実施
3. 四季を通しての名所作りの推進
4. 交流研修委員会との協力
5. まち歩き（貸傘等）の推進

(交流研修委員会)

お越し頂いたお客様のご満足度を上げていくことが重要であると考えます。そこで、魅力ある温泉地づくり、街づくり等の為に研修事業を実施したい。

また、市内の観光資源(厳立峡・金山巨石群)をはじめ周辺観光地などお客様への細やかなご案内ができるよう、協会員(接客担当者)などを対象とした視察研修も実施したい。この視察事業については「まちづくり委員会」とともに連携して実施したい。

1. 温泉地づくり、街づくり等の研修を開催
2. 市内外の観光資源の視察などの「おもてなし研修会」の開催
3. インバウンドなど国際交流事業の実施・日常会話等語学講習会の開催

※例年実施の車上セミナーは、25年が過ぎ皆様方のご参加による永年の積み重ねが、JR東海様による商品造成や主要駅や新幹線車両内でのポスター掲示など観光客の誘致に繋がっております。

JR東海様とは今後も引き続きタイアップするとともに、本年度からは「下呂の街を今後どう作って行くのか」をテーマに、各地域の街づくりを視察研修することとし、観光セミナーとして計画していきたいと考えています。

(おもてなし委員会)

ホスピタリティ宣言をしている街として、下呂温泉を訪れる皆様に心からの「おもてなしの心で」お迎えをしたい。お客様目線にたった各イベントを通して大きく誘客に結びつけ、訪れて良かったと心から思われる下呂温泉にし、再度訪れたい地として飛躍を図りたい。その為に下記事業を展開する。

1. 下呂温泉いでゆ夜市
7月20・27日、8月4・10・17・24日（各土曜日、8/4のみ日曜日）
計6回開催予定
2. 歌塚供養祭 8月4日（日）
3. 歌塚歌謡祭 8月4日（日）
4. キャンドルイルミネーション 12月24日（火）
5. JR東海「さわやかウォーキング」への協力
春（竹原）5月19日（日）、夏（足湯めぐり）6月23日（日）
6. 各種アウトドアイベントへの協力
7. 温泉街の各種イベントへの協力

(青年部)

ー事業方針ー

昨年の新政権発足後、アベノミクス効果による株価上昇や行き過ぎた円高の是正、大企業の賃上げなど、大変明るいニュースが紙面を飾るようになって参りました。しかし下呂温泉におきましては、宿泊単価の低下や団体客の減少など、なかなか先の見えない厳しい状態が続いております。このような時でも私達青年部は、「観光」という地域経済にとって波及効果の大きな総合産業を、今どうすればよいのか考え、行動することで、下呂温泉の魅力や個々の事業所の魅力をお客様に感じていただけたと思います。また、先人が築き上げた「下呂温泉」の知名度の大きさや下呂の観光資源を最大限に生かして、個性のある観光地づくりに積極的な活動を展開していきたいと考えております。私達青年部は、個々の業種、規模、立地に関わらず同じ時代に頑張る仲間として、大いに情報を交換し、語り合い、互いに啓発しあうことで、地域経済を担う一員として自覚を持ち青年部活動に取り組んでいきましょう。

(事業計画)

1. 下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバン
3. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究
 - ・花木の植栽や消毒、肥料やり
4. 下呂温泉花火ミュージカル冬公演実行委員会への参画
5. 部員拡大